



# 第14回 JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologist

日時

2016年6月11日(土)

総会 18:00~20:30 懇親会 20:30~22:00

会場

堂島ホテル ハドソン

大阪市北区堂島浜2-1-31 〒530-0004  
TEL:06-6341-3000

参加費 3,000円

(別途JSWN年会費2,000円を申し受けます)

JSWN代表世話人

原 プレスセンタークリニック  
／虎の門病院 原 茂子

JSWN当番幹事

順天堂大学医学部 腎臓内科 濱田 千江子  
東京都保健医療公社大久保病院 若井 幸子

プログラム

◆地域活動報告

北海道・東北・北信越・関東  
・東海・近畿・中国・四国・九州

◆平成27年度 JSWN研究活動奨励賞  
受賞式・受賞者講演

中司 敦子先生 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科  
『近位尿細管細胞におけるライソゾーム機能異常と  
vaspinによる細胞保護機構の解明』

板橋 美津世先生 東京女子医科大学第四内科  
『抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎における  
再燃と感染の判断に有用なバイオマーカーの検索』

◆特別講演 本田 一穂先生

昭和大学医学部 解剖学講座 顕微解剖学部門 教授  
『腎臓と腹膜の関係-PDが出来ること』

◆総会后懇親会

主催:JSWN(日本女性腎臓病医の会)

事務局:国際医療福祉大学病院 湯村 和子  
事務取扱い担当:株式会社ピーシーオーワークス  
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-4-2 神田アーバンビル2階  
TEL:03-3291-3636 FAX:03-3291-3635  
E-mail:jswn\_info@pcoworks.jp



## 腎臓と腹膜の関係-PDが出来ること

昭和大学医学部 解剖学講座  
顕微解剖学部門 教授

本田一穂

腹膜の発生学的由来は、中胚葉の最も外側に位置する側板中胚葉であるが、腎はそのすぐ内側に位置する中間中胚葉に由来する。

したがって、発生学的に腹膜と腎臓は極めて近い間柄である。その表れとして、中皮細胞のマーカーの一つであるポドプラニンはもともと糸球体足細胞で発見され命名された分子である。腹膜透析(PD)は生体膜である腹膜をろ過装置に見立てたものであるが、腹膜毛細血管内の溶質が中皮細胞層を通過して腹腔に移動することは、糸球体毛細血管内から足細胞層を通過してボウマン嚢腔に移動する糸球体濾過に類似している。中皮細胞と足細胞には深いつながりがあるように思えるが、その関係はほとんど研究なされていない。

一方、PDの合併症である腹膜硬化症や被嚢性腹膜硬化症(EPS)は、腹膜毛細血管の透過性亢進が背景にあることから、腹膜の血管透過性の問題が詳細に検討されてきた。腹膜の血管透過性のメカニズムの解明は、ネフローゼ症候群における糸球体毛細血管の透過性亢進のメカニズムを考えるヒントを与えてくれる。また、数多くの腹膜傷害モデルの研究は腎における線維化機構の解明にも貢献している。さらに最近では、腎の再生医療に中皮細胞を応用する試みも始まっている。

以上の問題を概説しながら、PDが腎臓病の診療と研究に果たしてきた役割と今後の展望について考えてみたい。